

アンケート調査結果

住民意見の聴取について

(調査方法)

- アンケートにより住民意見を聴取する。
- アンケート調査は、紙媒体による調査とWEB調査の併用で行う。

(調査対象者)

【紙媒体】

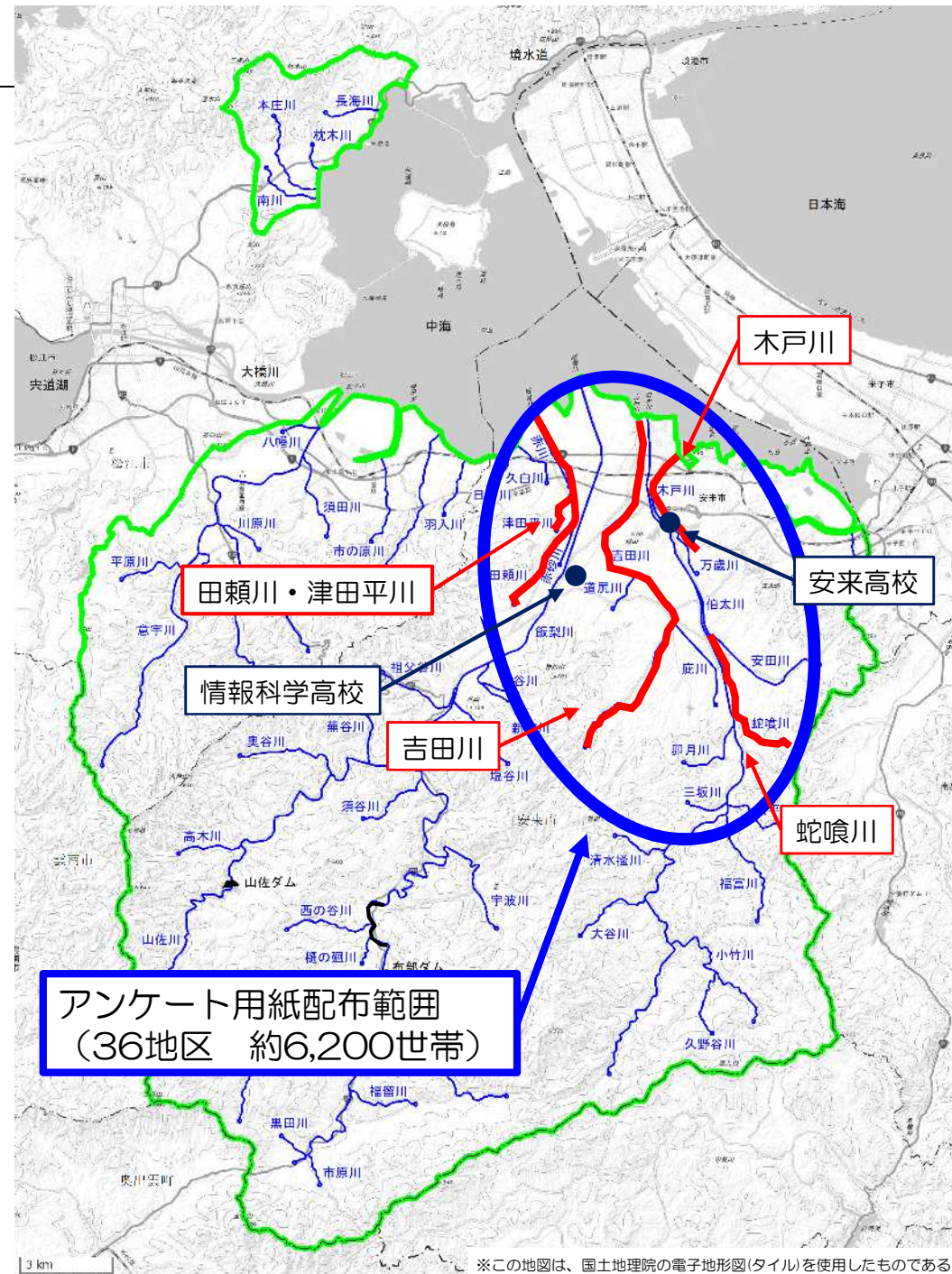
- 河川整備計画の対象河川の流域内の住民
(36地区 約6,200世帯が対象)

【WEB調査】

- 無制限
(島根県土木部河川課HPにアンケート調査票を公開)
- 河川整備計画の対象河川流域内にある高校2校
(安来高校2年生、情報科学高校3年生にチラシ配布)

(調査期間)

- 令和5年10月20日から令和5年11月15日まで



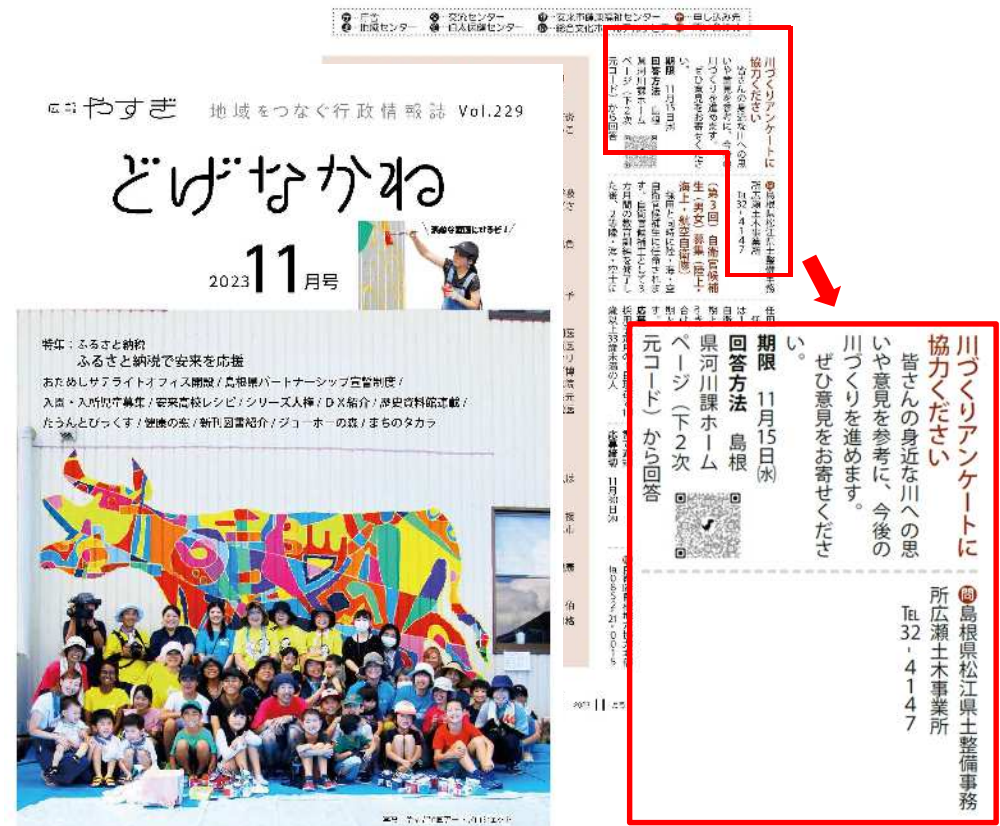
住民意見の聴取について

(周知の方法)

- 河川整備計画の対象河川の流域内の住民へリーフレットとアンケート用紙を配布
- 島根県河川課ホームページへの掲載
- 広報やすぎ「どげなかね」(2023年11月号)への掲載
- 島根県河川課広報誌「しまねの河川と海岸」(令和5年10月号)への掲載



島根県河川課ホームページ



広報やすぎ「どげなかね」(2023年11月号)

アンケートの配布数・回答数

- アンケート調査の回収率は30%となり、過去に実施したアンケートと比較しても高い回収率となった。
- WEB調査での回答数は全体の17%占めており、新たな取り組みとして効果があった。

調査方法	配布数	回答数	回収率
紙媒体による調査	6,244	1,867	30%
WEB調査	-	376	-
合計	6,244	2,243	-

令和5年11月20日までに回答があったものを対象とした

(参考) 平成26年度以降及び当初計画策定分のアンケート調査実施状況

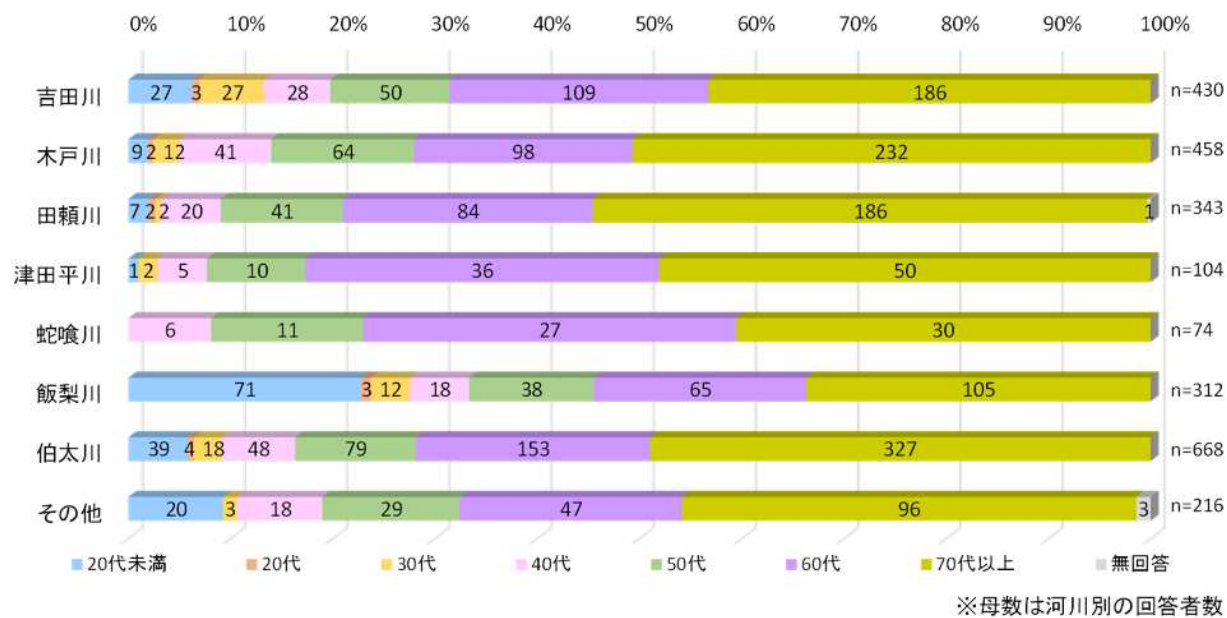
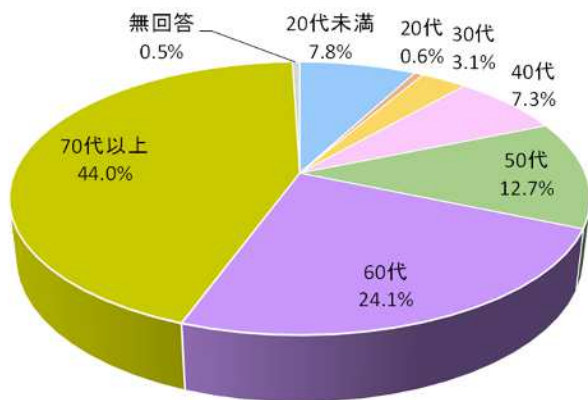
(河川整備計画名)	:	(回収率)	
高津川水系下流支川域 (当初) (H27.3策定)	:	10%	(配布枚数2,530枚、回答数254枚)
斐伊川水系宍道湖東域 (第2回変更) (H27.3策定)	:	12%	(配布枚数21,976枚、回答数2,763枚)
斐伊川水系中流支川域 (当初) (H28.12策定)	:	40%	(配布枚数12,493枚、回答数4,944枚)
斐伊川水系宍道湖北西域 (第1回変更) (H30.3策定)	:	45%	(配布枚数5,656枚、回答数2,564枚)
江の川水系八戸川流域 (第1回変更) (R2.3策定)	:	18%	(配布枚数3,619枚、回答数653枚)
斐伊川水系中海支川流域 (当初) (H18.5策定)	:	0.003 %	(配布枚数10,525枚、回答数29枚)

アンケート集計結果

Q1 年齢を教えてください

- 「70代以上」が4割以上を占め、60代・70代以上を合わせると約7割になる。
- 飯梨川は他の河川と比較して「20代未満」の割合が高い。

年齢	回答数(人)
20代未満	174
20代	13
30代	69
40代	164
50代	285
60代	541
70代以上	986
無回答	11
合計	2,243



アンケート集計結果

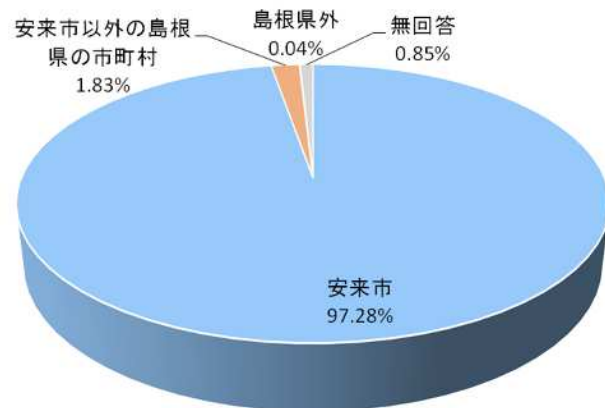
Q2 お住まいの地域を教えてください

- 9割以上が安来市の住民である。

【河川別】

- 飯梨川は、他の河川と比較して安来市外に住んでいる人からの回答が多い。

選択肢	回答数 (人)
安来市	2,182
安来市以外の島根県の市町村	41
島根県外	1
無回答	19
合計	2,243



※母数は河川別の回答者数

アンケート集計結果

Q3 中海支川域で最も「身近な川」を教えてください

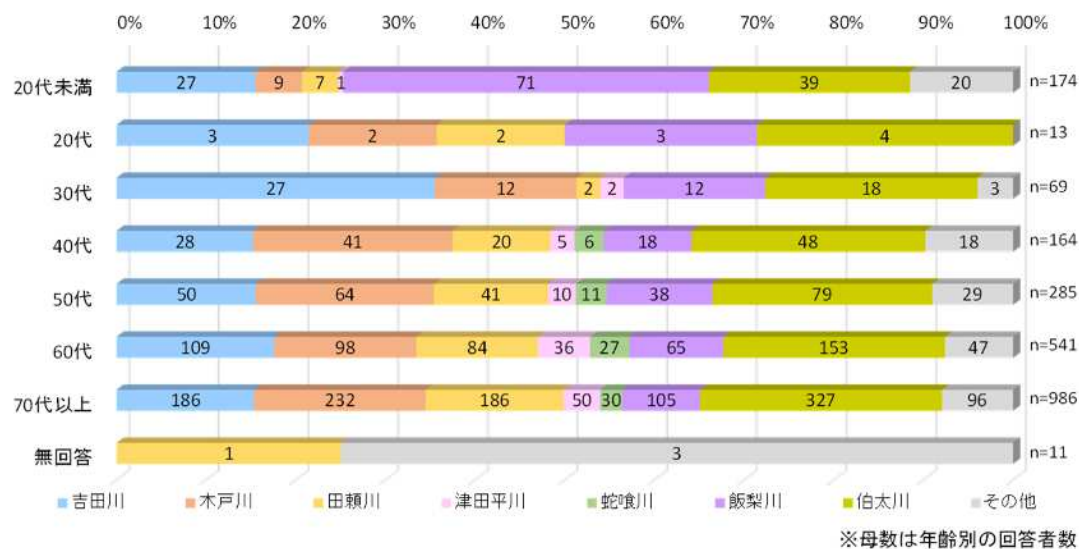
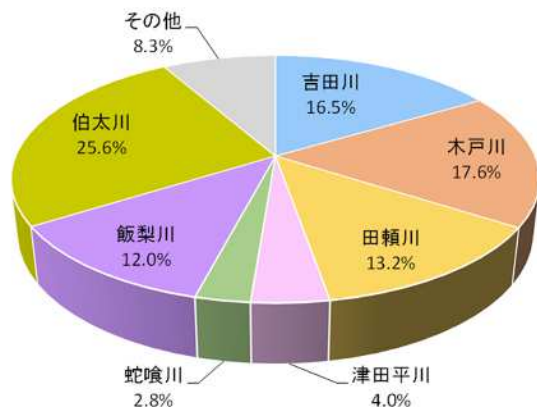
- 「伯太川」と回答した人が最も多く、約3割を占める。

【河川別】

- 20代未満は「飯梨川」と回答した割合が最も多く、回答の約4割を占める。
- 30代は「吉田川」と回答した割合が最も多く、回答の約4割を占める。

選択肢	回答数(人)
吉田川	430
木戸川	458
田頼川	343
津田平川	104
蛇喰川	74
飯梨川	312
伯太川	668
その他	216
合計	2,605

※複数回答有：合計回答数：2,605（一人当たり回答数1.16）

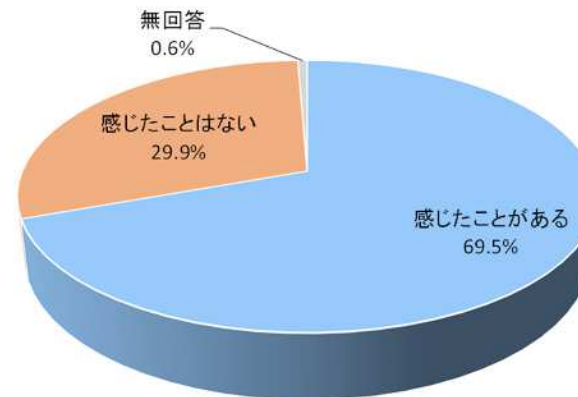


アンケート集計結果

Q4 「身近な川」において、洪水に対して不安に感じたことがありますか

- 2/3以上の方が洪水に対して不安を「感じたことがある」と回答した。

選択肢	回答数（人）
感じたことがある	1,558
感じたことはない	671
無回答	14
合計	2,243

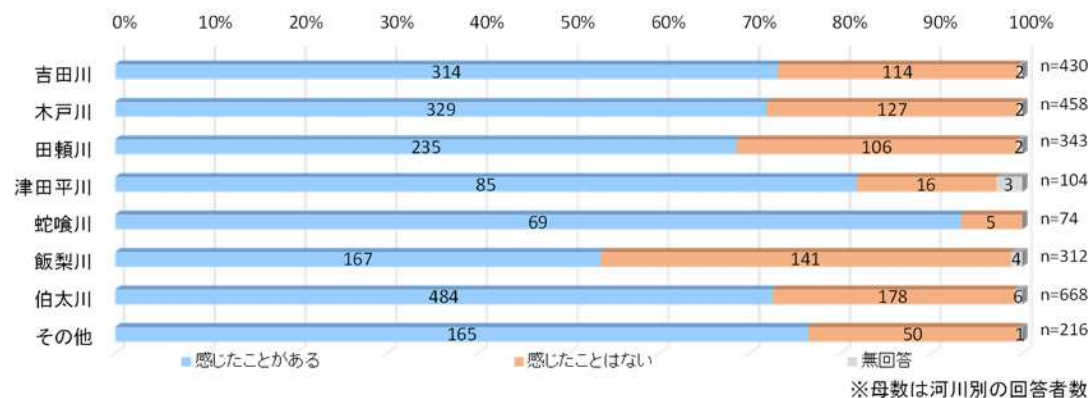


アンケート集計結果

Q4 「身近な川」において、洪水に対して不安に感じたことがありますか

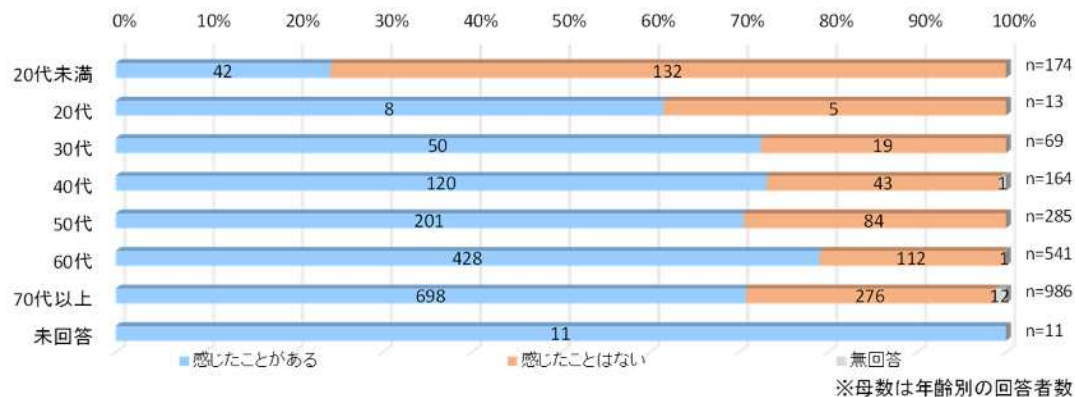
【河川別】

- 全河川において不安を「感じたことがある」割合が過半数を占め、特に蛇喰川では9割以上が不安を「感じたことがある」と回答した。



【年齢別】

- 20代未満は不安を「感じたことがある」割合が少ない。



アンケート集計結果

Q5 Q4で「感じたことがある」を選んだ理由を教えてください【複数回答可】

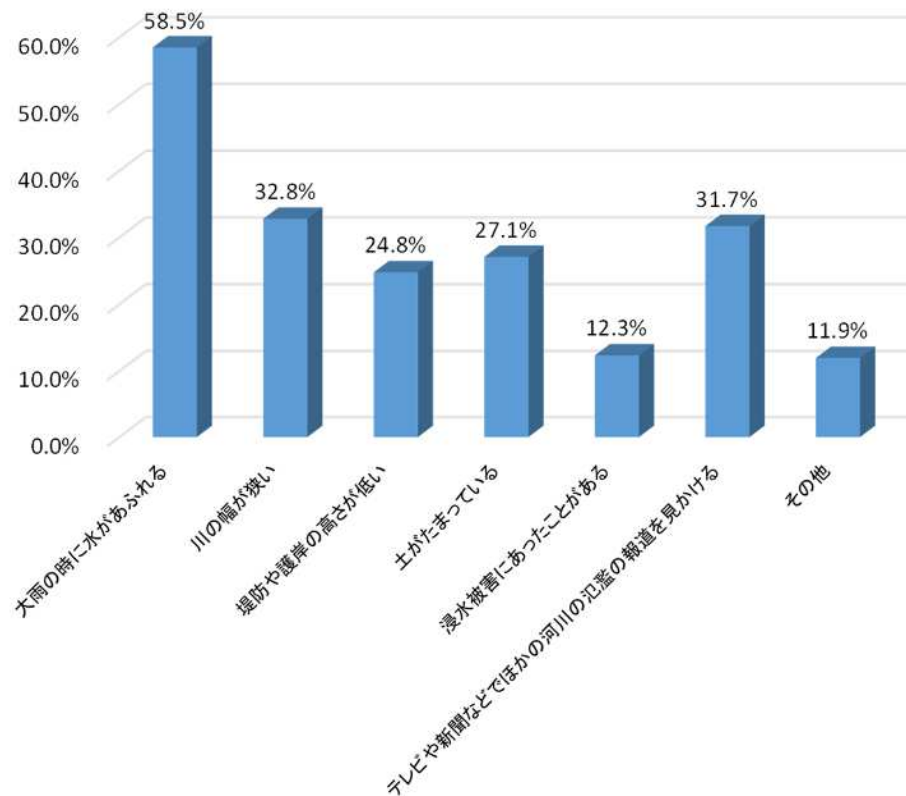
- 洪水に対する不安を感じた理由として、「大雨の時に水があふれる」とする回答が過半数を占めた。

選択肢	回答数（人）
大雨の時に水があふれる	911
川の幅が狭い	511
堤防や護岸の高さが低い	386
土がたまっている	422
浸水被害にあったことがある	192
テレビや新聞などでほかの河川の氾濫の報道を見かける	494
その他	186
母数	2,243

合計回答数：3,102（一人当たり回答数1.38）

【主なその他意見】

- 雨量が増えた
- 橋と川床との間隔が小さく水が流れにくい
- 川の近くに住んでいる
- ハザードマップの被害範囲に自分の家が入っていた
- 護岸、堤防の老朽化及び崩壊

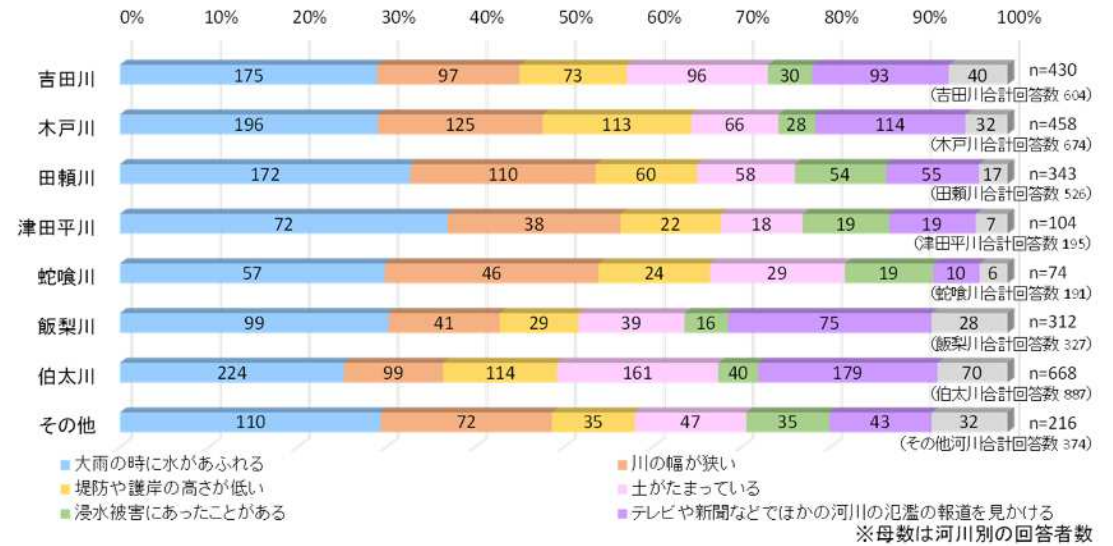


アンケート集計結果

Q5 Q4で「感じたことがある」を選んだ理由を教えてください【複数回答可】

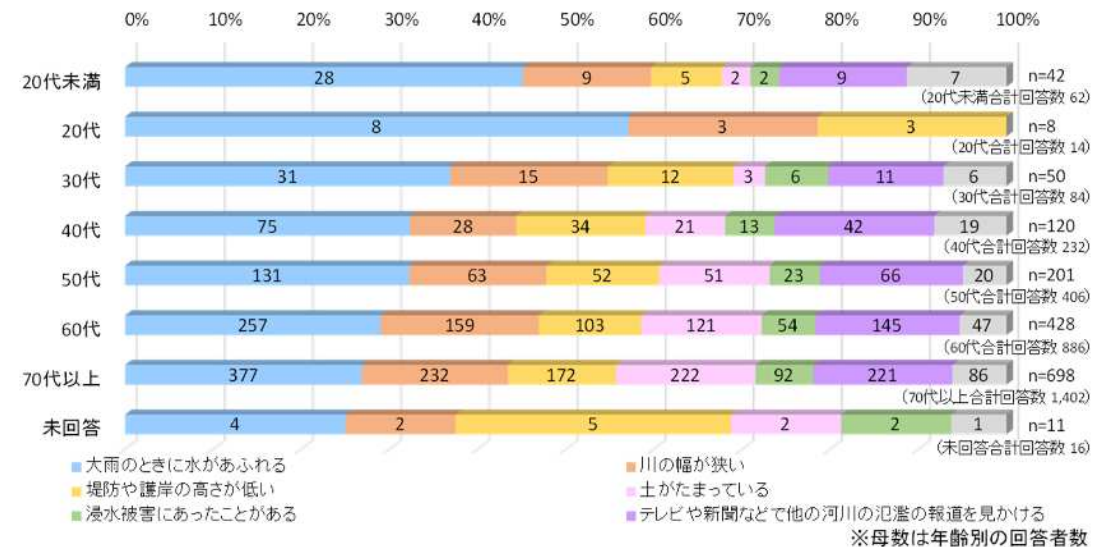
【河川別】

- 飯梨川は他の河川と比較して、「テレビや新聞などで他の河川の氾濫の報道を見かける」と回答した人が多い。



【年齢別】

- 年齢が上がるにつれ、1人当たりの回答数が増える傾向がみられた。

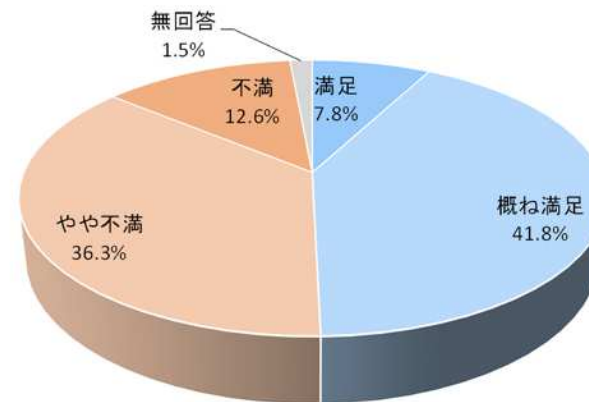


アンケート集計結果

Q6 「身近な川」の環境に満足していますか

- 現状の河川に対して「満足」「やや満足」している人と「不満」「やや不満」の人が半々であった。

選択肢	回答数(人)
満足	175
概ね満足	938
やや不満	815
不満	282
無回答	33
合計	2,243

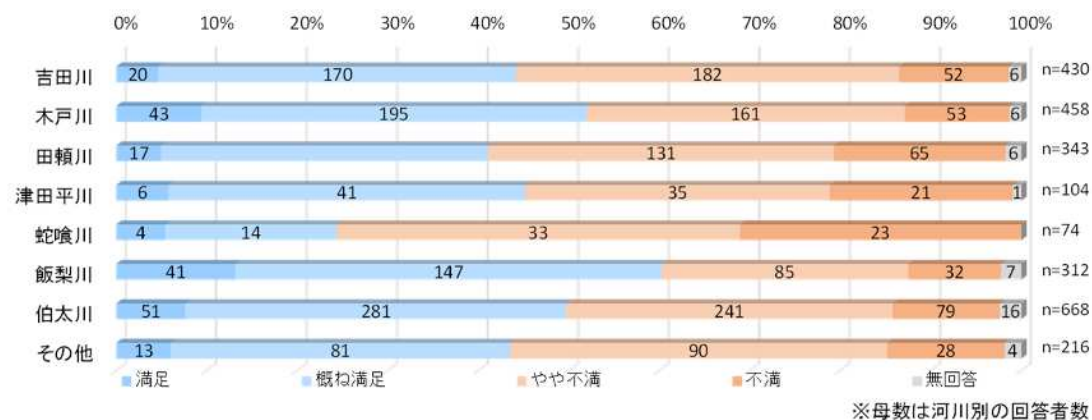


アンケート集計結果

Q6 「身近な川」の環境に満足していますか

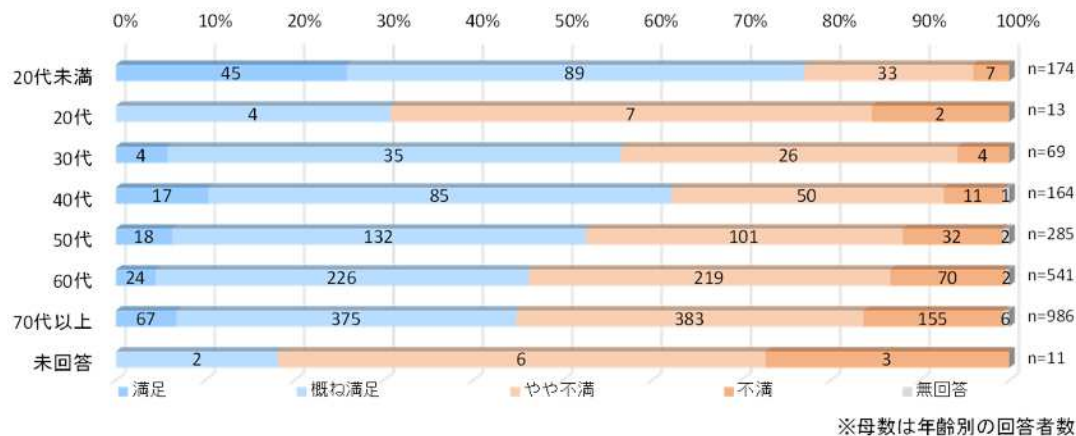
【河川別】

- 蛇喰川は身近な川の環境に不満を持つ人の割合が他河川と比べて高い。



【年齢別】

- 20代、60代、70代以上で身近な川の環境に不満を持つ割合が半分を超える。
- 20代未満は現状の河川に満足している人が7割以上で、他の年代と比べて高い。



アンケート集計結果

Q7 Q6で「①満足」、「②概ね満足」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

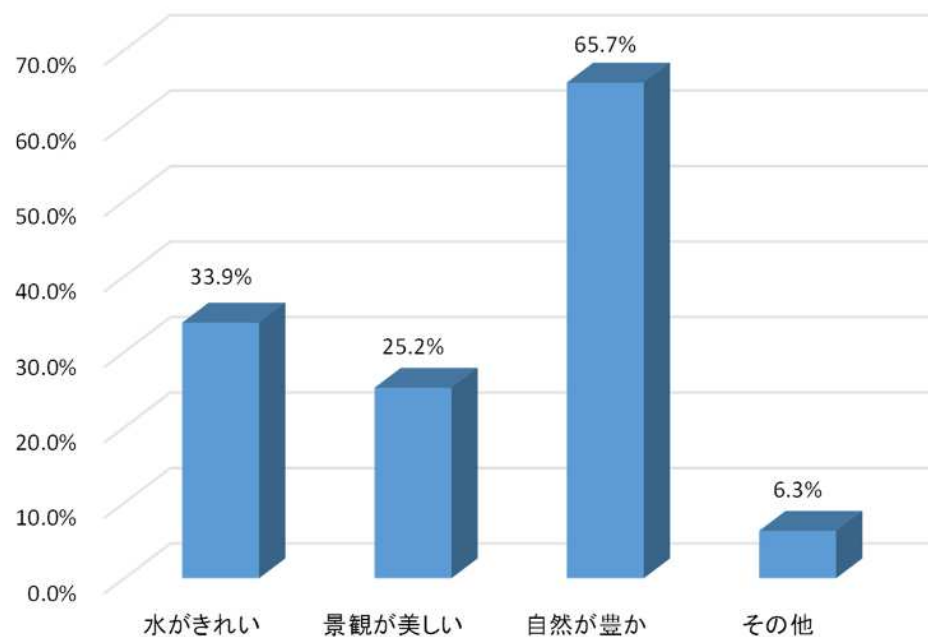
- 6割以上の方が「自然が豊か」と回答した。

選択肢	回答数(人)
水がきれい	377
景観が美しい	281
自然が豊か	731
その他	70
母数	1,113

合計回答数：1,459（一人当たり回答数1.31）

【主なその他意見】

- 治水が良い
- 整備が進んだ
- 草刈りがされている
- 様々な生き物（ホタル、エイ、ウナギ、コイ、タナゴ、ナマズ、カメ、カモ、ハクチョウ、渡り鳥 など）がいる

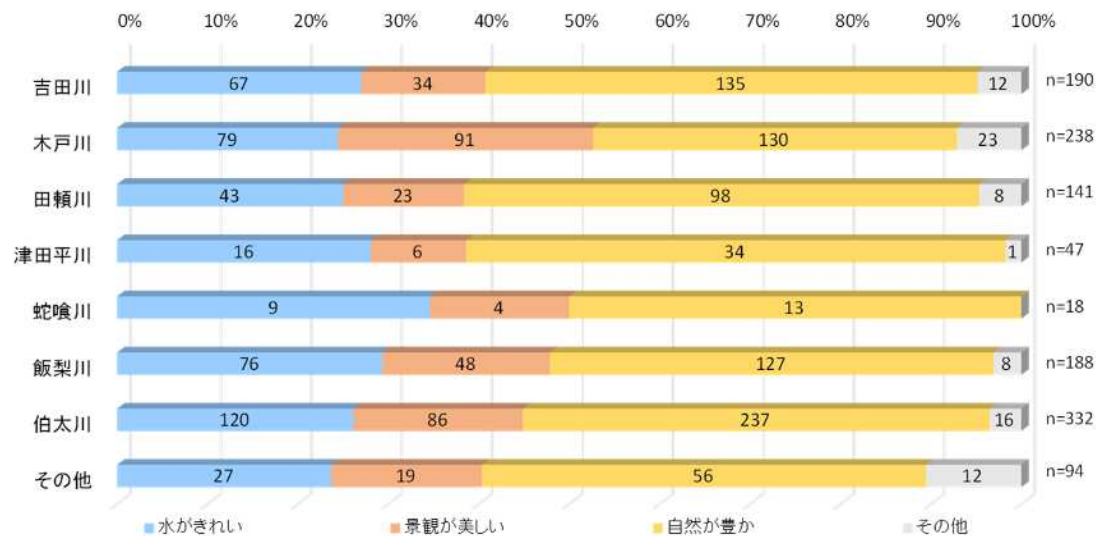


アンケート集計結果

Q7 Q6で「①満足」、「②概ね満足」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

【河川別】

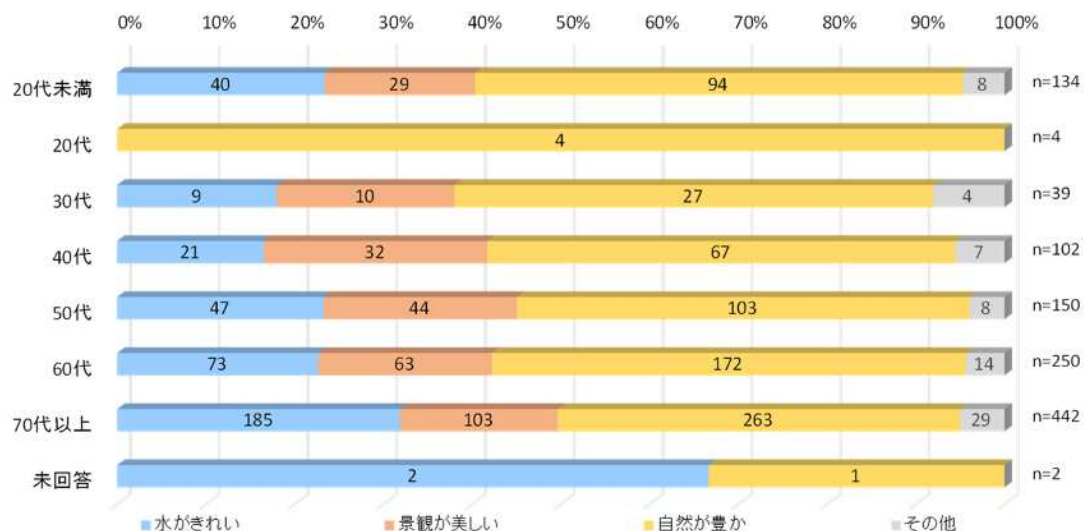
- 木戸川は他の河川と比較して「景観が美しい」と回答した割合が高い。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 70代以上は他の年代と比較して「水がきれい」と回答した割合が高い。



※母数は年齢別の回答者数

アンケート集計結果

Q8 Q6で「③やや不満」、「④不満」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

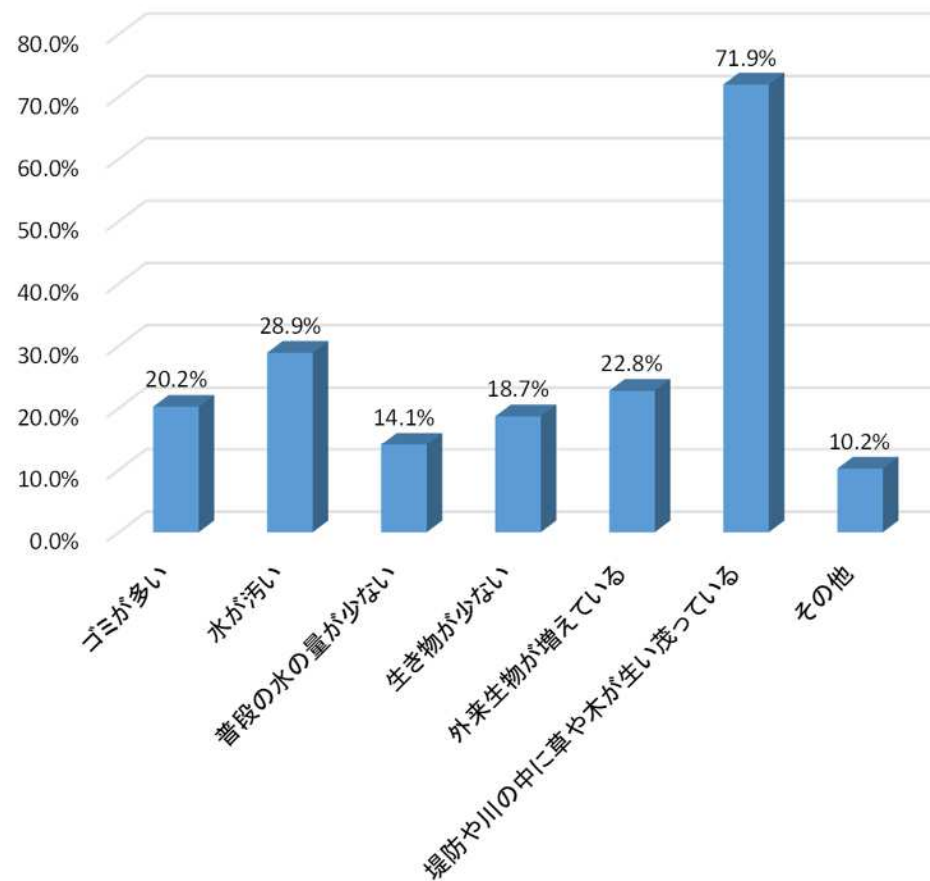
- 2/3以上が「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」と回答した。

選択肢	回答数（人）
ゴミが多い	225
水が汚い	321
普段の水の量が少ない	162
生き物が少ない	208
外来生物が増えている	254
堤防や川の中に草や木が生い茂っている	806
その他	120
母数	1,097

合計回答数：2,968（一人当たり回答数2.71）

【主なその他意見】

- 大雨で水があふれる
- 防災が不十分
- 壊れた箇所が放置されている
- 川遊びができない
- 生物がいなくなった（ホタル、フナ、コイ、マハゼ、カモ、カワセミ）
- 害獣の増加（カワウ、サギ類、キジ、ヌートリア（多数）、イタチ、イノシシ、タヌキ）

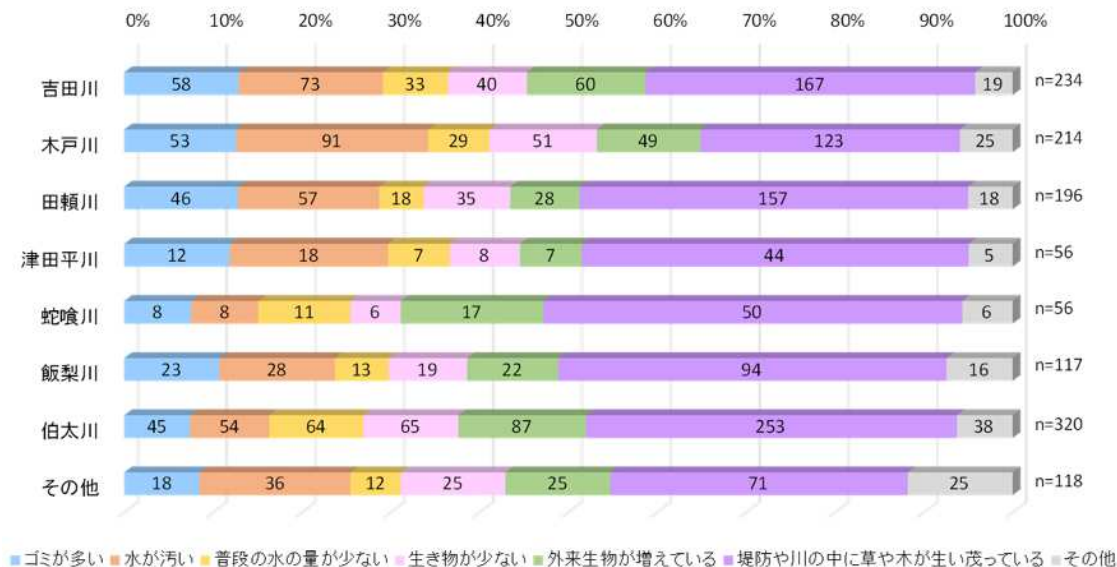


アンケート集計結果

Q8 Q6で「③やや不満」、「④不満」と回答された理由を教えてください【複数回答可】

【河川別】

- 木戸川は他の河川と比較して「水が汚い」と回答した割合が高い。



【年齢別】

- 20代未満は「水が汚い」と回答した割合が高い。



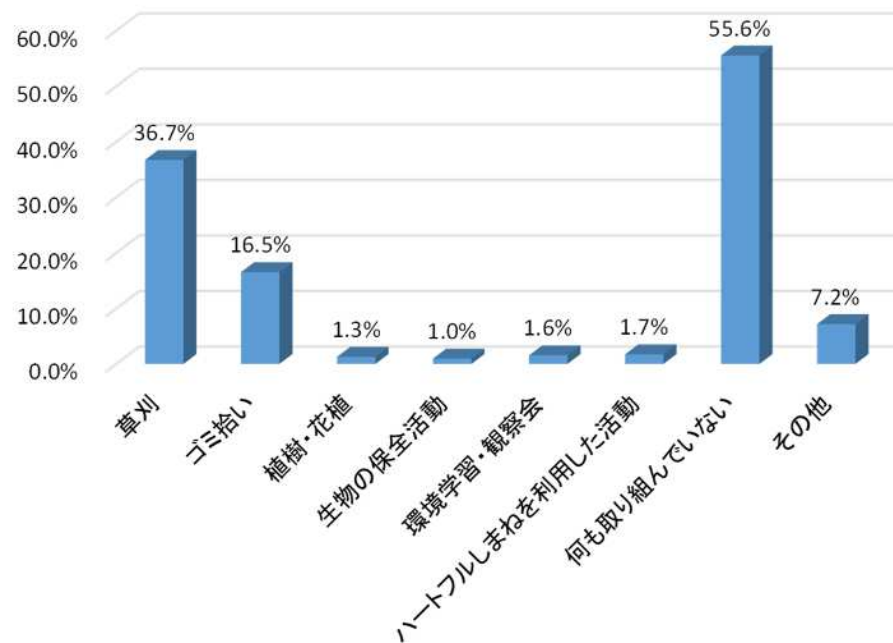
アンケート集計結果

Q9 「身近な川」で、あなたが「現在取り組まれていること」について教えてください
【複数回答可】

- 「何も取り組んでいない」と回答する割合が過半数を占める。
- 取り組まれていることで最も多いのは「草刈り」であった。

選択肢	回答数（人）
草刈	824
ゴミ拾い	371
植樹・花植	29
生物の保全活動	22
環境学習・観察会	35
ハートフルしまねを利用した活動	39
何も取り組んでいない	1,246
その他	161
母数	2,243

合計回答数：2,727（一人当たり回答数1.22）



【主なその他意見】

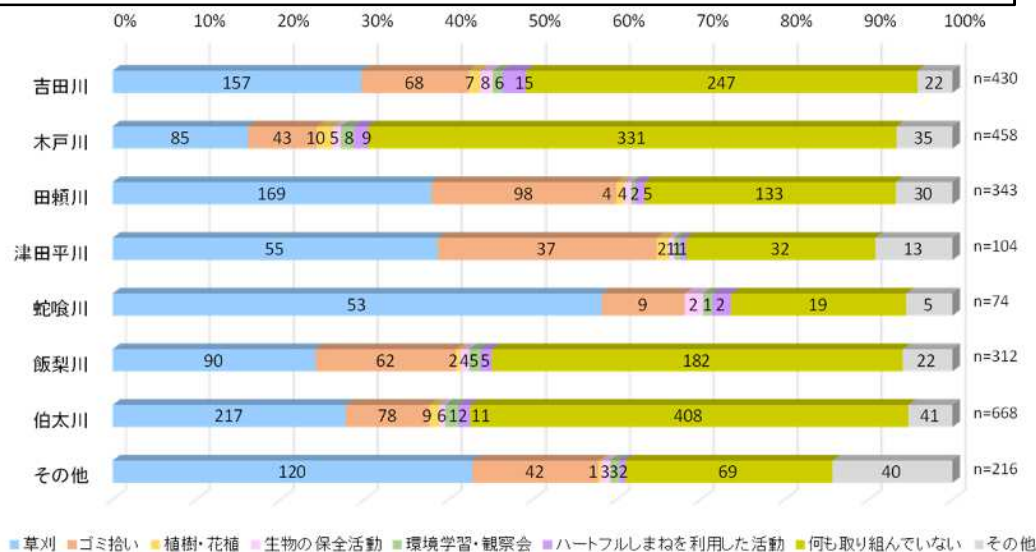
- 藻類、土嚢、土砂の撤去
- 護岸、堤防の補修
- 川にゴミを捨てない
- 見守る
- バス釣り
- 自治体、町内会等の環境整備活動に参加

アンケート集計結果

Q9 「身近な川」で、あなたが「現在取り組まれていること」について教えてください
【複数回答可】

【河川別】

- 田頼川、津田平川、蛇喰川では過半数の人が何かしらの取り組みを行っており、「草刈り」と回答した割合も他河川より高い。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 20代未満で「何も取り組んでいない」という回答が7割以上を占めた。



※母数は年齢別の回答者数

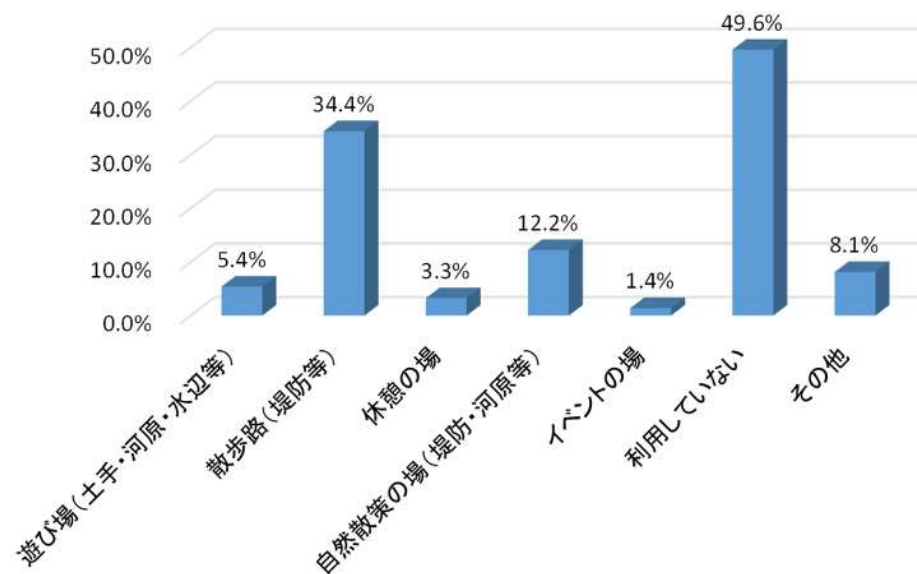
アンケート集計結果

Q10 「身近な川」をどのように利用していますか【複数回答可】

- 約半数が「利用していない」と回答した。
- 利用する場合、全河川で「散歩路（堤防等）」としての利用が最も多い。

選択肢	回答数（人）
遊び場（土手・河原・水辺等）	121
散歩路（堤防等）	771
休憩の場	73
自然散策の場（堤防・河原等）	274
イベントの場	31
利用していない	1,112
その他	182
母数	2,243

合計回答数：2,564（一人当たり回答数1.14）



【その他内訳】

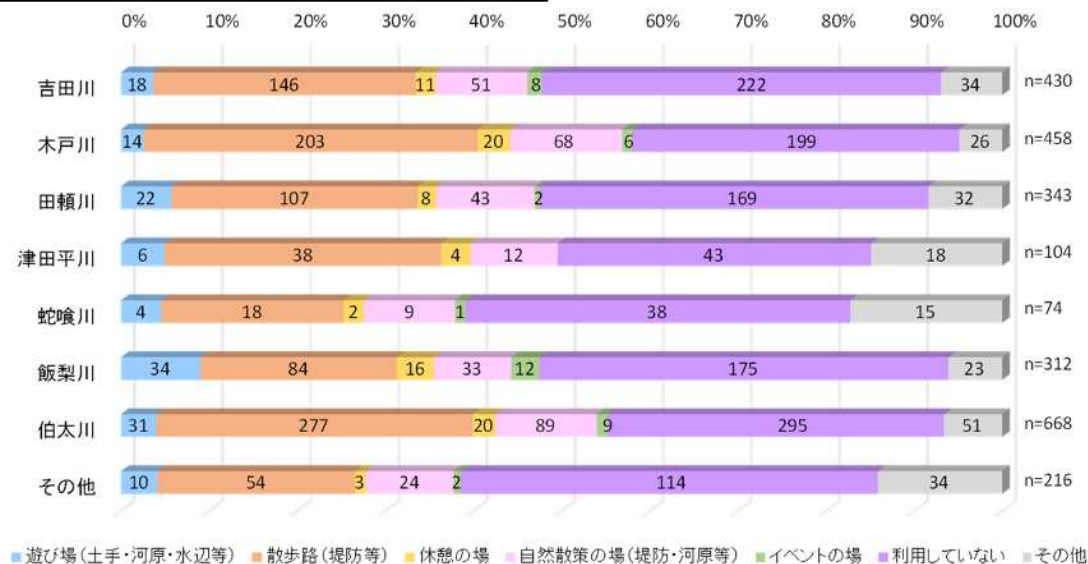
- 農業用水《多数》
- 草を収穫して家畜の餌に使用
- 養殖
- 水棲生物採集
- 校外学習
- 防火用水
- 洗い物

アンケート集計結果

Q10 「身近な川」をどのように利用していますか【複数回答可】

【河川別】

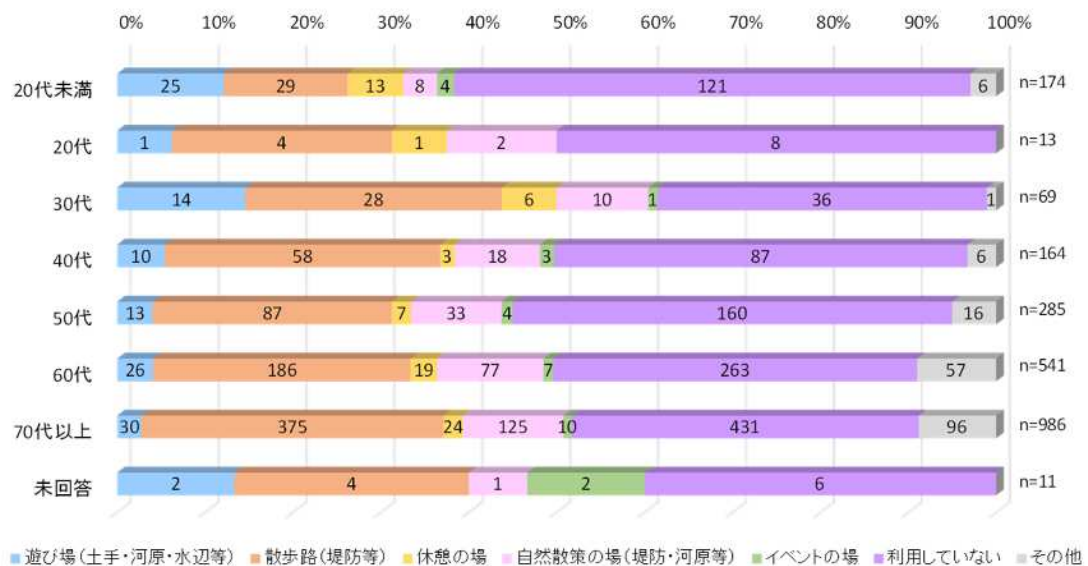
- 木戸川、伯太川は他の河川と比較して「散歩路（堤防等）」として利用している人の割合が高い。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 20代未満、30代は「遊び場（土手・河原・水辺等）」として利用している割合が他の年代と比べて高い。



※母数は年齢別の回答者数

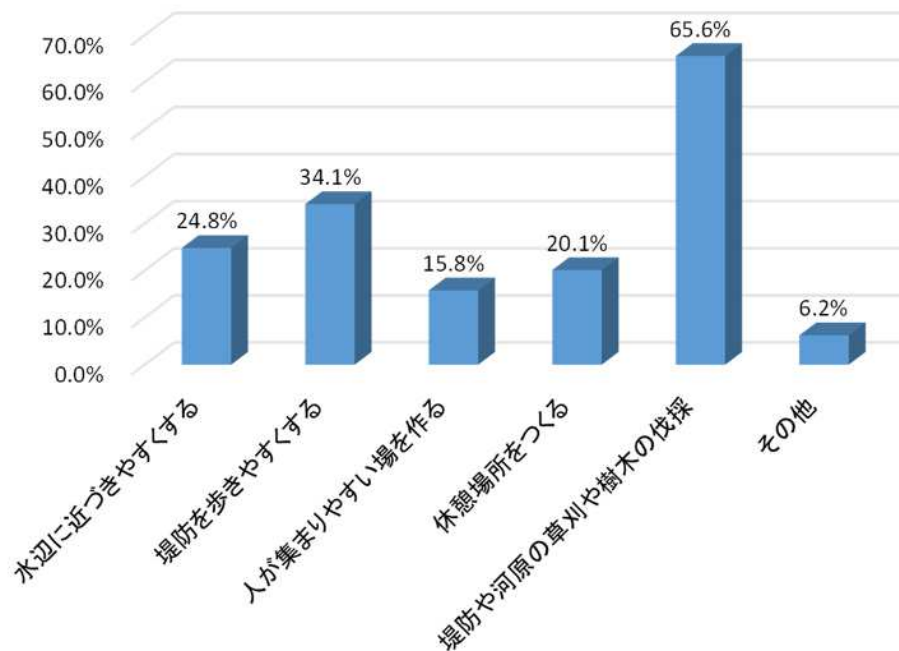
アンケート集計結果

Q1 1 「身近な川」を利用しやすくするために必要と思う項目を教えてください【複数回答可】

- 6割以上が「堤防や河原の草刈や樹木の伐採」と回答した。

選択肢	回答数(人)
水辺に近づきやすくする	556
堤防を歩きやすくする	765
人が集まりやすい場を作る	354
休憩場所をつくる	451
堤防や河原の草刈や樹木の伐採	1,471
その他	140
母数	2,243

合計回答数：3,737（一人当たり回答数1.67）



【主なその他意見】

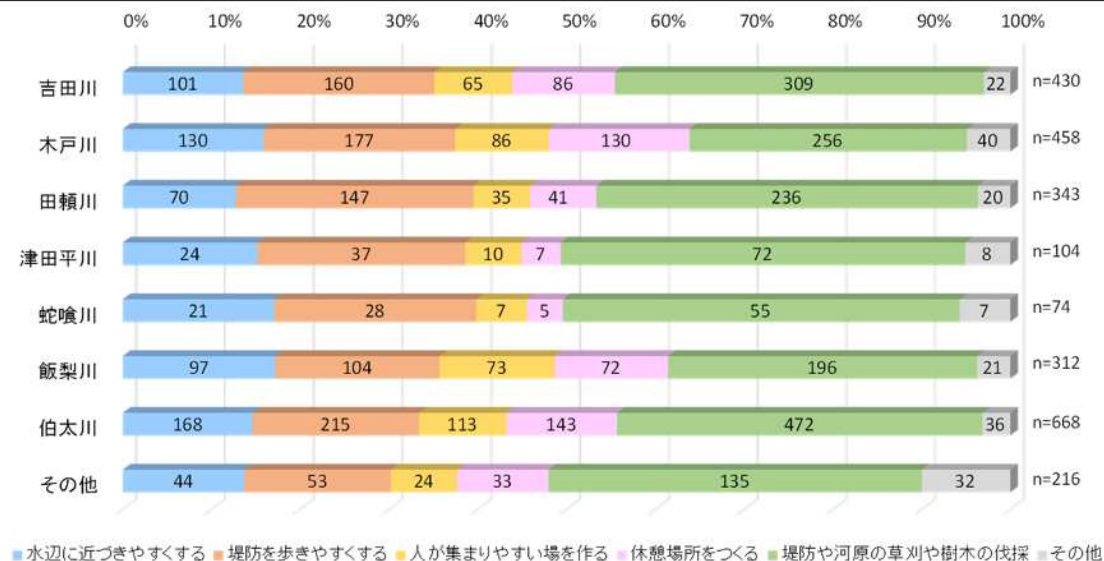
- 利用しやすくする必要はない
- 現状で良い
- 下水整備
- トイレの設置
- 街灯の設置
- 護岸整備
- 安全性の確保
- イベントの開催
- 外来種の駆除
- 生物の保全

アンケート集計結果

Q1 1 「身近な川」を利用しやすくするために必要と思う項目を教えてください【複数回答可】

【河川別】

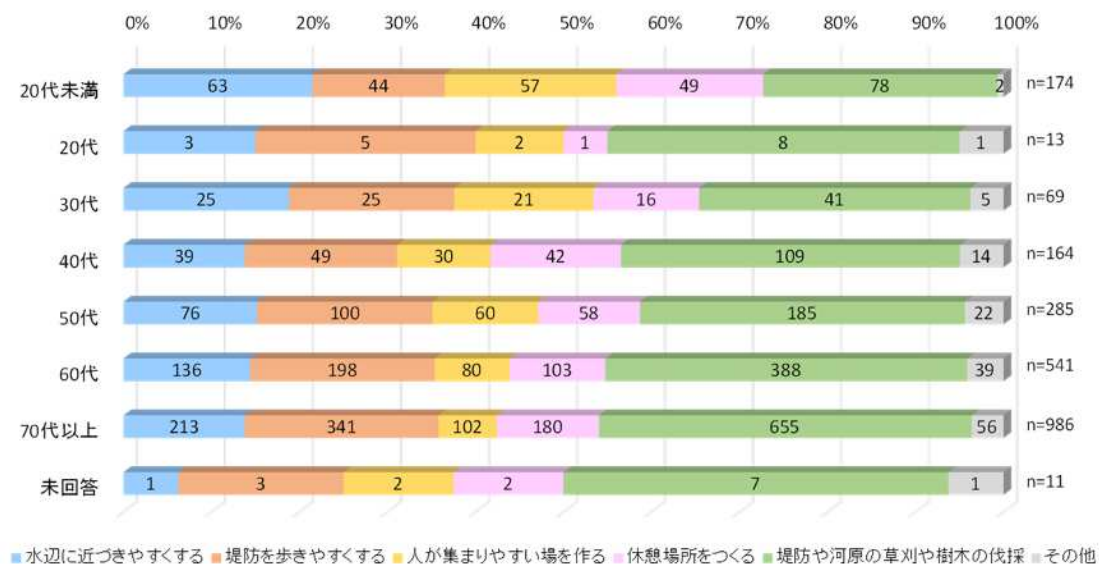
- 木戸川は他の河川と比べて「休憩場所をつくる」と回答した割合が高い。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 20代未満は他の年代と比べて場所づくりに関する回答をした割合が高い。



※母数は年齢別の回答者数

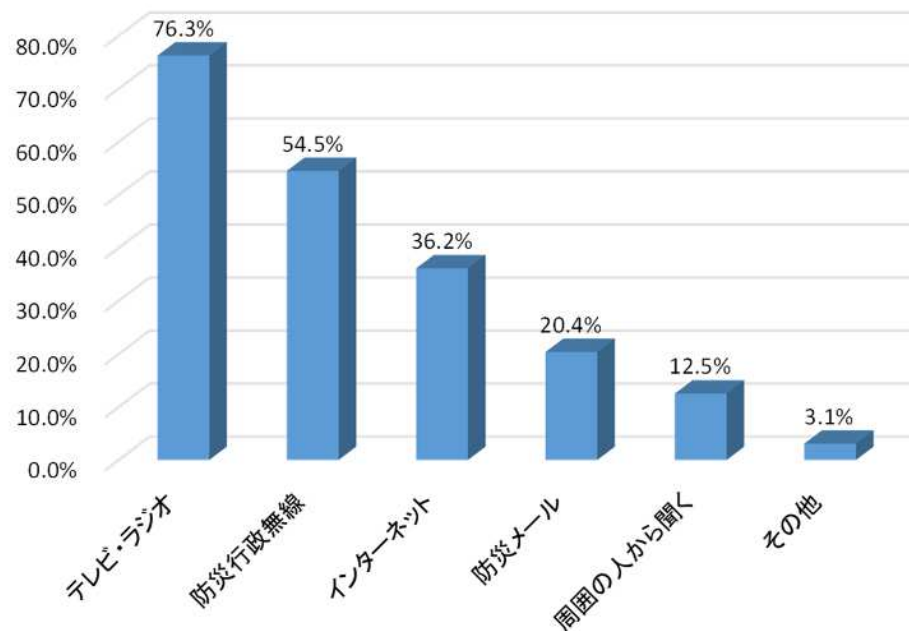
アンケート集計結果

Q12 大雨の際、防災情報をどのように入手されていますか【複数回答可】

- ・ 7割以上が「テレビ・ラジオ」と回答した。

選択肢	回答数(人)
テレビ・ラジオ	1,711
防災行政無線	1,223
インターネット	811
防災メール	457
周囲の人から聞く	281
その他	69
母数	2,243

合計回答数：4,552（一人当たり回答数2.03）



【主なその他意見】

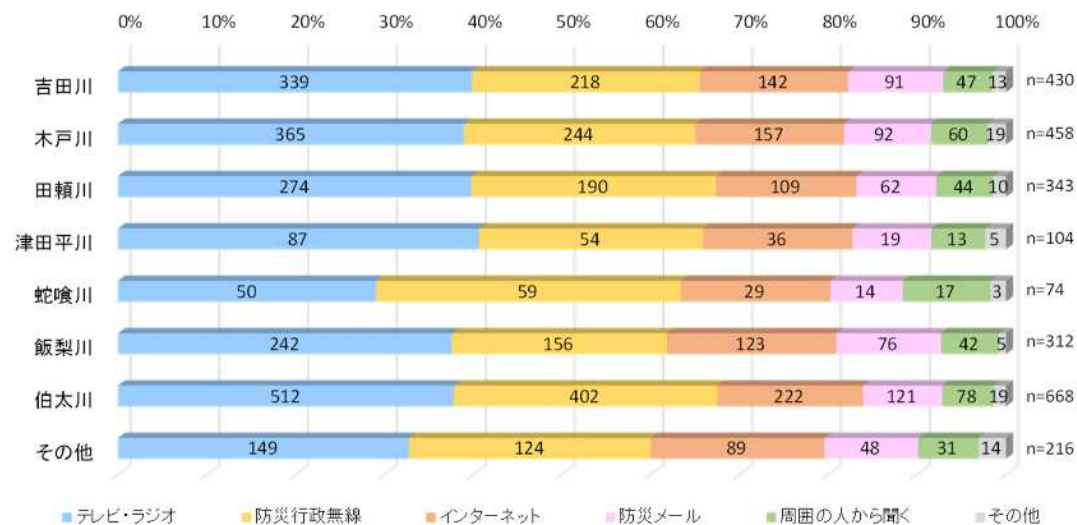
- ・ 情報が入らない
- ・ 目視で川を確認
- ・ LINE
- ・ 告知端末放送
- ・ 市、自治体、町内会からの連絡

アンケート集計結果

Q12 大雨の際、防災情報をどのように入手されていますか【複数回答可】

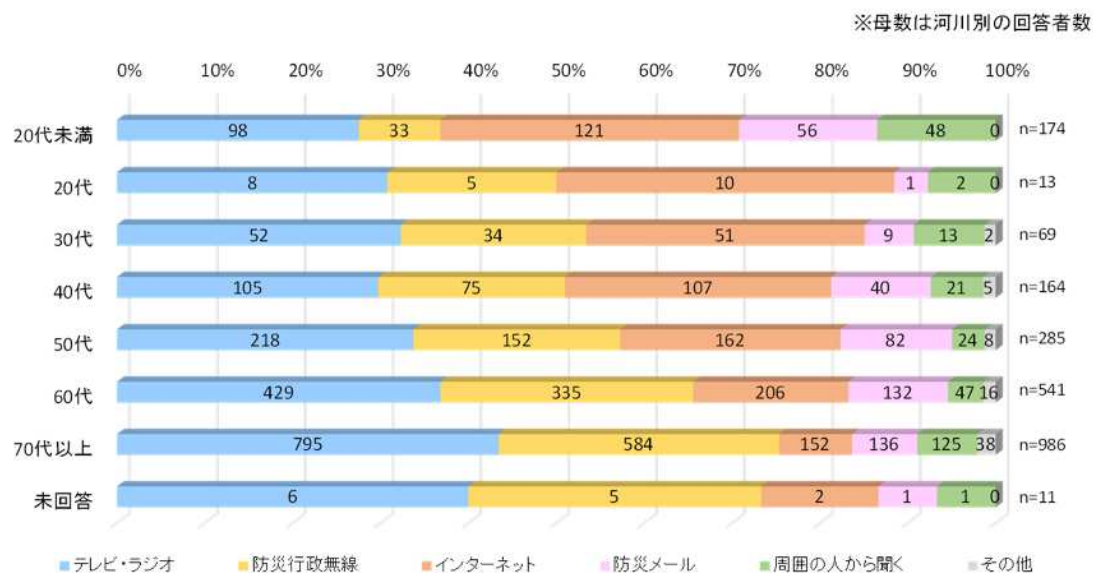
【河川別】

- 蛇喰川のみ「テレビ・ラジオ」よりも「防災行政無線」と回答した割合が高い。



【年齢別】

- 年齢が上がるにつれ、「インターネット」と回答する割合が減少し、「テレビ・ラジオ」、「防災行政無線」と回答する割合が高くなる。



※母数は年齢別の回答者数

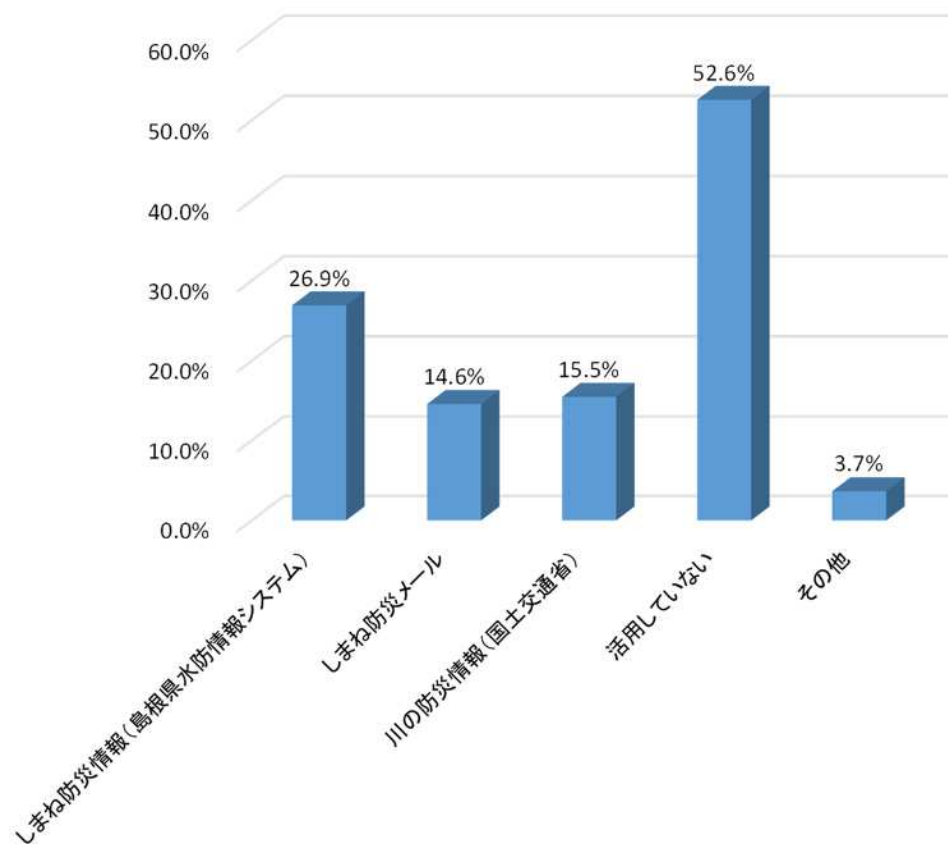
アンケート集計結果

Q13 国や県は、リーフレットにあるように、インターネット等で防災情報を提供していますが、その情報を活用していますか【複数回答可】

- 「活用していない」という回答が過半数を占める。

選択肢	回答数(人)
しまね防災情報(島根県水防情報システム)	604
しまね防災メール	328
川の防災情報(国土交通省)	348
活用していない	1,179
その他	82
母数	2,243

合計回答数: 2,541 (一人当たり回答数1.13)



【主なその他意見】

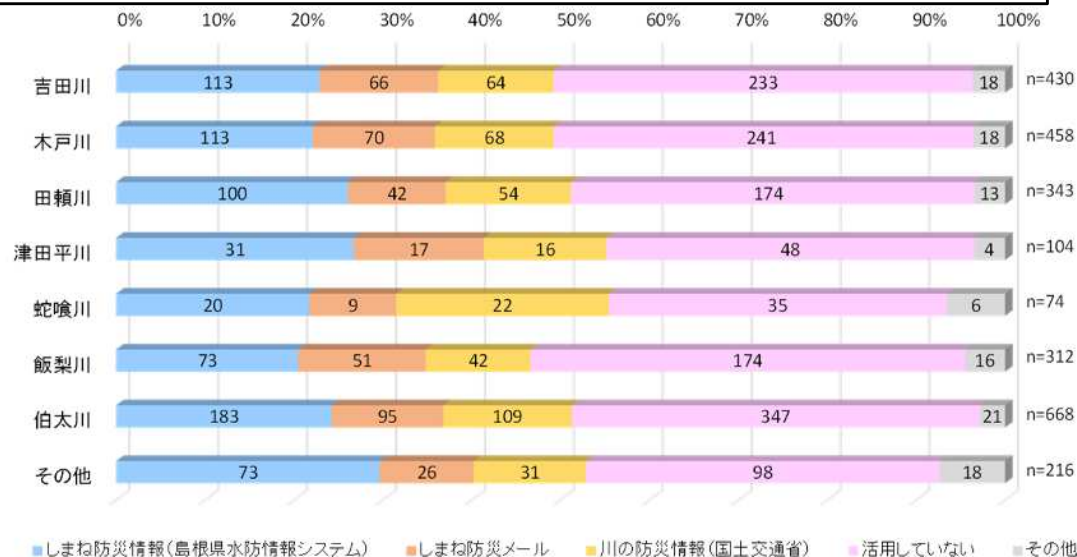
- ネット環境がない、使えない
- 緊急速報
- 防災放送
- NHKニュース防災
- どじょっこテレビ/ネット
- ウェザーニュース
- NHK防災アプリ
- Smart News
- キキクル
- ハザードマップ

アンケート集計結果

Q13 国や県は、リーフレットにあるように、インターネット等で防災情報を提供していますが、その情報を活用していますか【複数回答可】

【河川別】

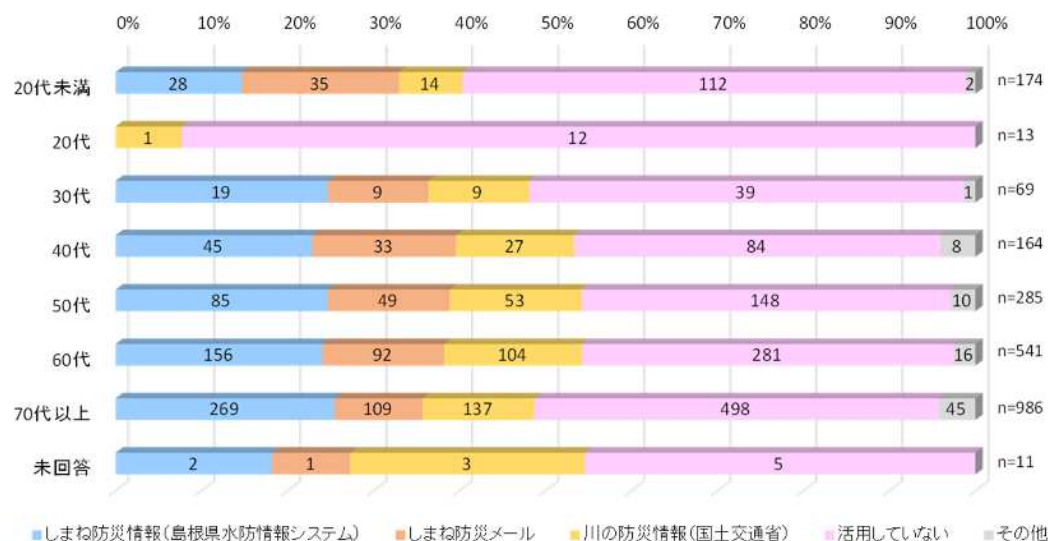
- 河川ごとに大きな違いは見られない。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 20代の情報の活用率が最も低い。



※母数は年齢別の回答者数

アンケート集計結果

Q14 普段、防災に関する情報や知識をどのように入手していますか【複数回答可】

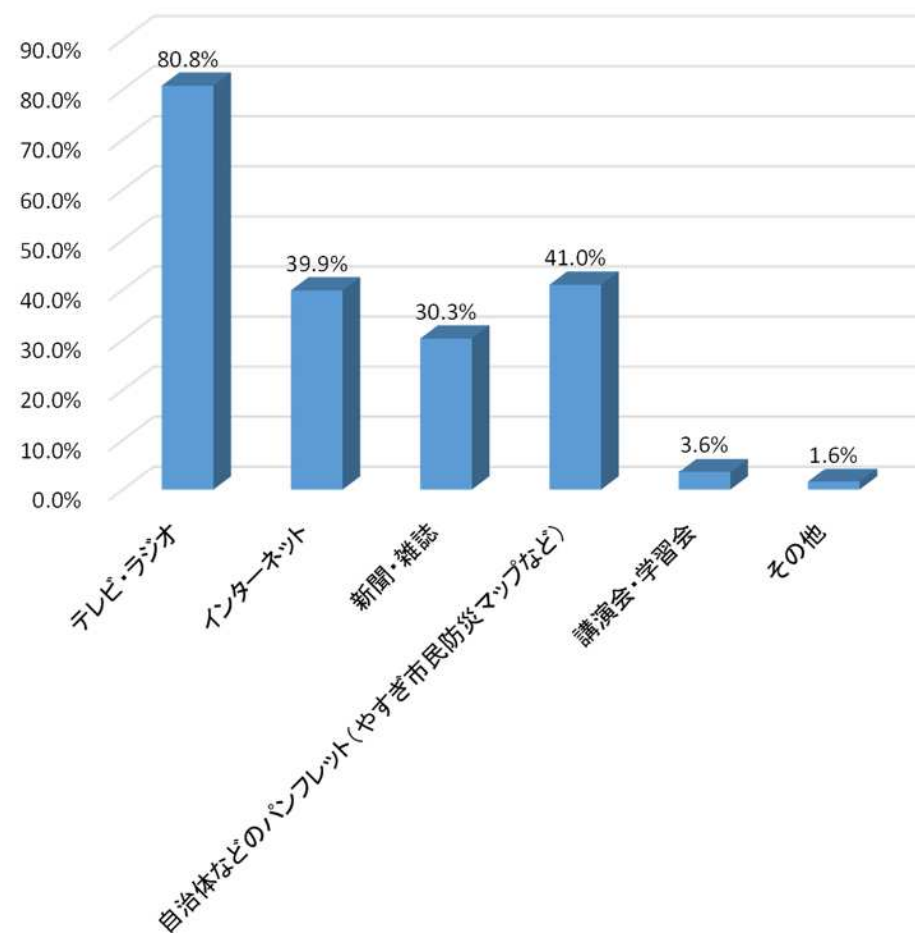
- ・ 8割以上が「テレビ・ラジオ」と回答した。

選択肢	回答数(人)
テレビ・ラジオ	1,812
インターネット	895
新聞・雑誌	679
自治体などのパンフレット(やすぎ市民防災マップなど)	920
講演会・学習会	80
その他	36
母数	2,243

合計回答数：4,422 (一人当たり回答数1.97)

【主なその他意見】

- ・ 入手していない
- ・ 行政告知端末
- ・ 資格取得
- ・ 過去の経験

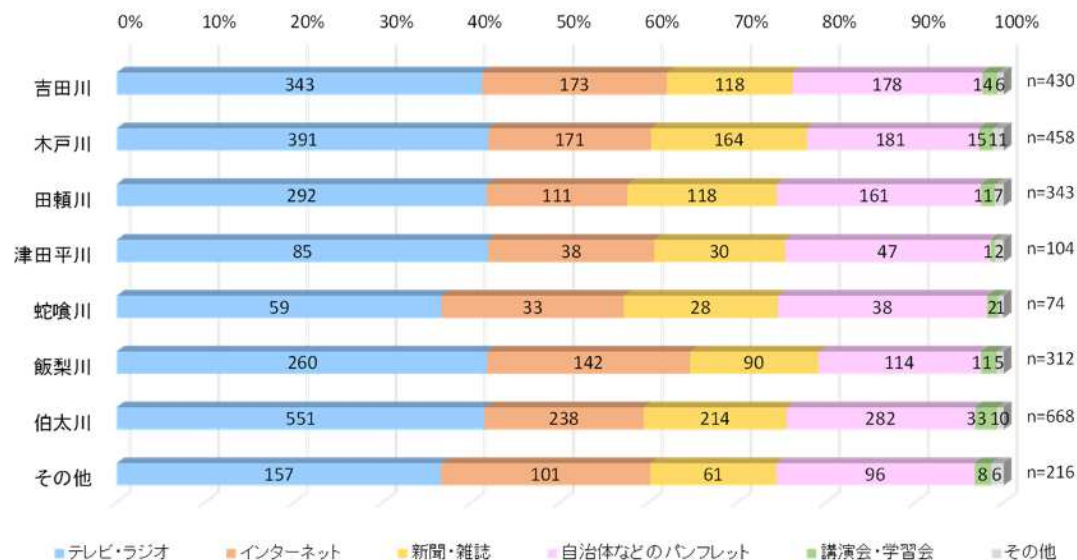


アンケート集計結果

Q14 普段、防災に関する情報や知識をどのように入手していますか【複数回答可】

【河川別】

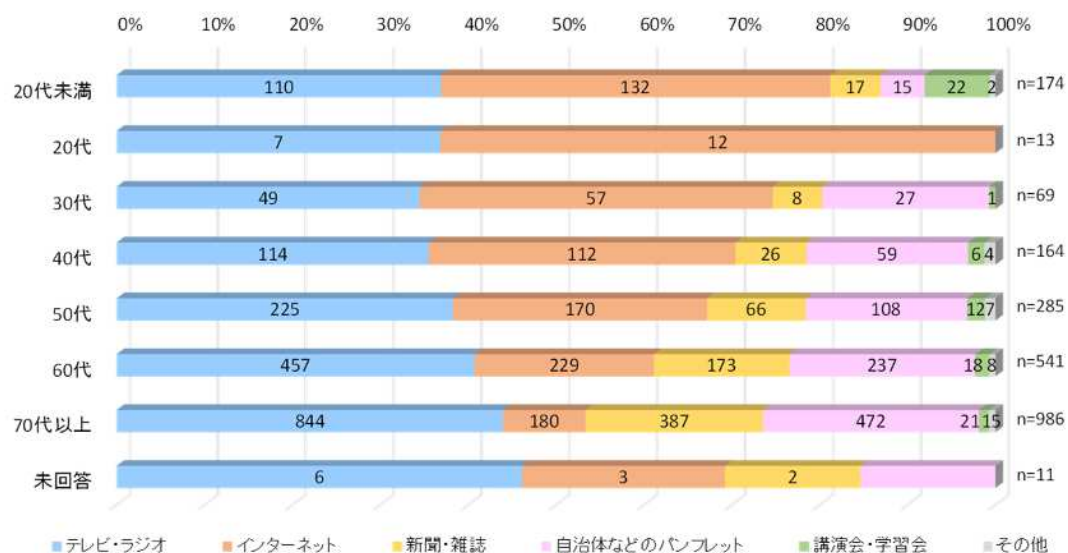
- 河川ごとに大きな違いは見られない。



※母数は河川別の回答者数

【年齢別】

- 30代以下で「インターネット」という回答が最も多い。
- 「新聞・雑誌」「自治体などのパンフレット」といった紙媒体は高齢世代になるほど割合が高くなる。



※母数は年齢別の回答者数

アンケート集計結果

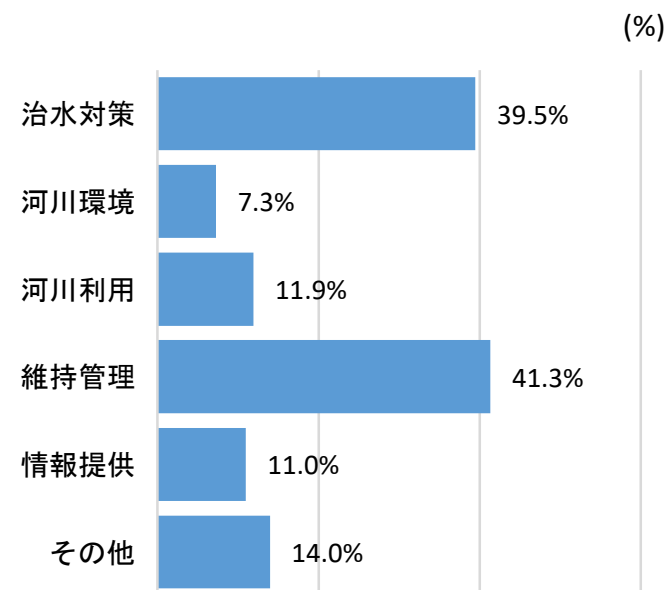
Q15 自由意見

- 537人から回答があり、延べ671項目について意見があった。
- 全意見のうち、それぞれ約4割が治水対策、維持管理に関する意見であった。

分類項目	回答数(人)
治水対策	212
河川環境	39
河川利用	64
維持管理	222
情報提供	59
その他	75
母数	537

【分類について】

治水対策：事業の新規要望、事業進捗の促進など
河川環境：生物環境、河川内のゴミなど
河川利用：環境整備など
維持管理：伐採、草刈、浚渫、施設の維持管理
情報提供：ソフト対策など



Q15 自由意見

主な自由意見

【治水対策】

- 早く改修してほしい／計画を立ててほしい。
(吉田川、木戸川、田頼川、津田平川、蛇喰川、万歳川、久白川、飯梨川、伯太川、卯月川など)

【河川環境】

- 魚、その他の動物が住みやすいような川にしてほしい。
- 外来種（ヌートリア、ハクビシン、カメ）やイノシシの住処になっている。

【河川利用】

- ゴミが多い。
- 川遊びができる場がほしい。
- 歩道を整備してほしい。

Q15 自由意見

主な自由意見

【維持管理】

- 草刈り、伐採を行ってほしい／頻度を上げてほしい。《多数意見》
- 堆積している土砂を取り除いてほしい。《多数意見》
- 施設（水門、護岸、堤防）の点検／補修をしてほしい。
- 高齢化が進み、維持管理が困難になった。

【情報提供】

- 防災情報の周知を進めてほしい。
- 防災行政無線が聞き取りづらい。
- 大雨時は混雑して、防災情報を提供するサイトにアクセスできない。

【その他】

- 地元の意見も吸い上げてほしい。
- 津田平川全域を一級河川にしてほしい。

アンケート集計結果まとめ

治水対策関係

- 身近な川において、洪水に対して不安に感じたことがある人が約2/3を占め、「大雨の時に水があふれる」ことを理由にした人が半数を占めた。
- 多くの河川で洪水・増水対策のための早急な河川改修を望む回答が多い。

河川環境関係

- 現状の河川に対して約半数が満足していた。満足している理由として、「自然が豊か」との回答が多い。また、約半数が不満を感じているが、その理由として「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」との回答が約7割を占めた。
- 身近な川での取り組みとして、「何も取り組んでいない」と回答する割合が約半数を占めた。
- 取り組まれていることで最も多いのは「草刈」で、特に田頼川、津田平川、蛇喰川は他河川と比較して草刈りに取り組んでいる人の割合が高い。

河川利用関係

- 身近な川を利用していない人が約半数を占めた。
- 利用する場合、「散歩路（堤防等）」としての利用が最も多かった。また、その他として「農業用水」と回答した人が見られた。
- 20代未満は他の年代と比べて「遊び場（土手・河原・水辺等）」として利用している割合が高く、川を利用しやすくするために必要と思うことについても「場所づくり」に関する回答をした割合が高い。

アンケート集計結果まとめ

維持管理関係

- 身近な川に対する不満理由として「堤防や川の中に草や木が生い茂っている」と回答する割合は約7割、身近な川を利用しやすくするために必要なこととして「堤防や河原の草刈りや樹木の伐採」と回答する割合も約7割を占めた。
- 住民による取り組みとしては「草刈り」「ゴミ拾い」の回答が多く、Q15自由意見でも草刈りや伐採についての意見が多かった。
- 洪水に対して不安を感じたことがある人の約3割は「河川に土が溜まっている」ことを選択しており、Q15自由意見でも洪水対策として「堆積している土砂を取り除いてほしい」との意見が多数あった。
- Q15自由意見では「施設（水門、護岸、堤防）の点検、補修をしてほしい」との意見も寄せられた。

情報提供関係

- 豪雨や防災に関する情報の入手について、50代以上は「テレビ・ラジオ」、「防災行政無線」を利用する人が多く、40代以下は「インターネット」を利用する人が多い。また、紙媒体を利用する割合は高齢になるほど増加傾向が見られた。
- 防災情報を活用していない人の中には、インターネットが繋がらない、使い方がわからない人もいるため、対策の必要性が伺われた。